

# 法典だより 学校評価特別号

令和 8 年 2 月 20 日  
船橋市立法典小学校  
連絡先: 439-0832  
<https://k7v4z07b7on1.blog.fc2.com/>



法典小ブログ

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。アンケート結果を基に、来年度に向けての改善策を練り、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員の皆様にご意見をいただきました。以下に、アンケートの結果と今後に向けてのまとめをお知らせいたします。

## I 教職員アンケートについて

### ・学校教育目標「自ら進んで行動する児童の育成 ～本気で取り組む法典小学校～」について

肯定的な回答が100%でした。「自ら進んで行動する児童」の育成に向けて、職員一同、教育活動に臨んできました。来年度も引き続き学校全体で目標達成に向けての意識の継続を図るとともに、目指す児童の姿をより明確にして指導にあたってまいります。

### ・生活指導・児童理解について

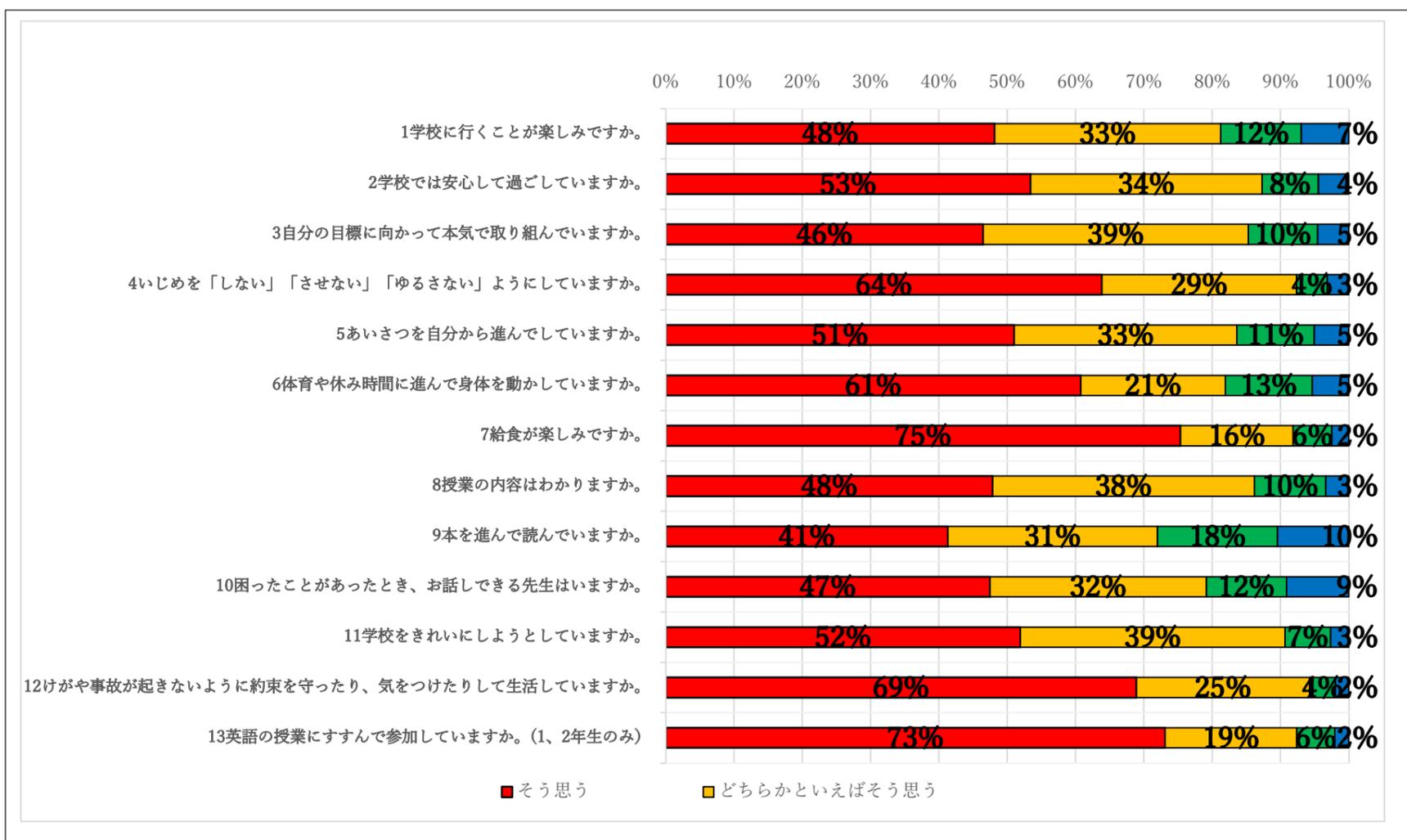
肯定的な回答が多く見られました。特に基本的な生活習慣の定着や児童が決まりを守り、規則正しく生活を送ることができるように支援をしていることの肯定的な回答が100%でした。児童一人一人の個性を大切にしながらも集団として成長できるよう、保護者の方と連携を図り、児童のよりよい成長に向けて指導、支援に努めてきました。また、いじめや子どもの困りごとに対しての適切な対応、教育相談の充実についても95%以上が肯定的な回答でした。引き続き児童が安心して学校にこられる環境を整え、子どもに寄り添った支援を継続していきます。今後も、保護者の方と連携を密にし、学校職員全体で、児童一人一人を大切にしていきます。

### ・学習指導について

昨年度の公開研究会の成果を引き継ぎ、本年度も学習指導に取り組んできました。ICT の活用について90%以上の肯定的な回答がありました。日々の学習活動の中で ICT を日常的に使用し、個別最適な学習が進むよう取り組んできました。引き続き、継続していきます。基礎基本の定着や対話による授業の工夫について80%以上の肯定的な回答がありました。基礎基本を重視しながら、対話による授業の工夫ができるように学習指導に取り組んでいきます。

## II 児童アンケートについて

### (1) 実施項目と結果



### (2) 考察

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的回答としたとき、13項目中11項目において肯定的回答が8割を超えました。「そう思う」の割合を増やし、肯定的な意見がさらに増えるよう努力していきます。

#### ・4 いじめを「しない」「させない」「ゆるさない」への取り組みについて

肯定的な回答が90%以上ありました。普段から教職員が児童へ「いじめは絶対にゆるさない」ということを伝え、児童同士でも他者との関わり方を道徳の授業時間などで考える姿が見られます。今後も、定期的なアンケートでいじめの早期発見、対応をしていき、全教職員で対応をしていき、いじめのない学校作りに努めていきます。

#### ・7 給食について

肯定的な回答が90%以上ありました。季節にあった食材やメニュー、だしや風味にこだわった調理が子どもたちに喜ばれていることがわかります。ブログでも子どもたちの様子が紹介されていますが笑顔で給食を食べています。楽しみでおいしい給食に引き続き取り組んでいきます。

#### ・10 困ったことがあった時の相談先について

肯定的な回答が約80%ありました。担任による児童への定期的な声掛けや相談を行い、児童理解に努めてきた他に、「おあしすポスト(相談箱)」が活用されていることが理由と考えられます。今後も年度初めに困った時の相談先として、スクールカウンセラーや相談箱「おあしすポスト」について周知するとともに、全児童が安心して悩みを打ち明けられる雰囲気を一層醸成していきます。

#### ・12 けがや事故が起きないように約束を守ったり、気をつけたりして生活していることについて

肯定的な回答が90%以上ありました。担任による児童への定期的な声かけや、児童による全校集会での呼びかけをおこなったことで意識が高まり

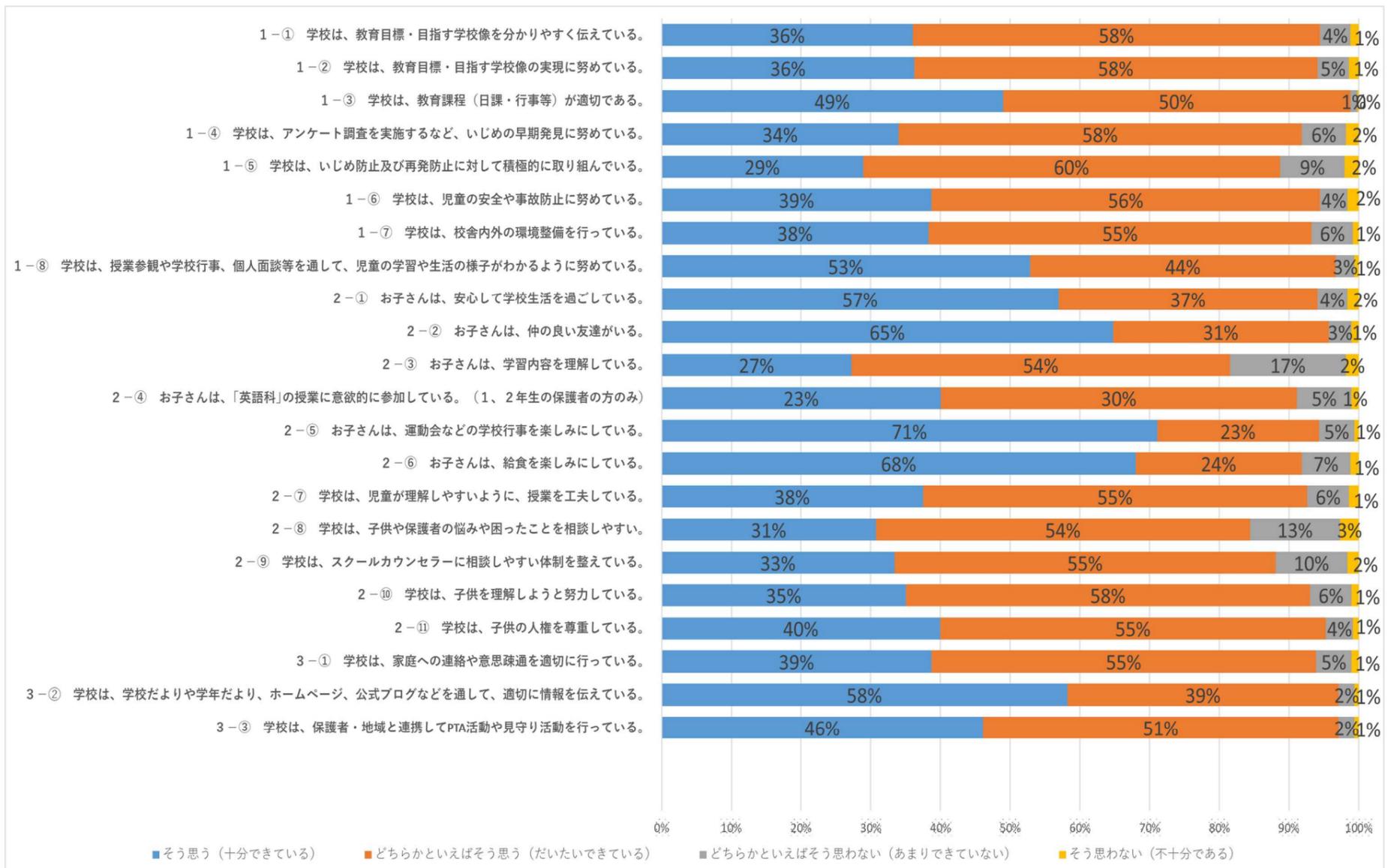
ました。校舎内での過ごし方や校庭での遊びの決まりなど児童と共通理解をして安全に過ごせるよう取り組んでいきます。

・13 英語の授業について

肯定的な回答が約90%以上ありました。座ってばかりの学習ではなく歌ったり体を動かしたりして英語の授業に取り組んでいます。ALT とのコミュニケーションを高めていき、児童が楽しく感じて進んで授業に取り組める環境作りに努めていきます。

Ⅲ 保護者アンケートについて

(1) 実施項目と結果



(2) 考察

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的回答としたとき、全22項目において肯定的回答の割合が8割を超えており、その内18項目が9割を超える結果となりました。しかしながら「そう思う」の割合がまだ低いので高まるように努力していきます。

・1-④・⑤ いじめ防止への取り組みについて

今年度においても、児童への生活アンケートを実施するとともに、日々の児童の様子の観察や担任による児童への定期的な声掛けを継続して行いました。また、主に道徳科や特別活動を通して、心の教育の充実にあたってきました。今回、「具体的に学校が取り組んでいる内容が分からない」といご意見も複数ありましたので、学校の取組について保護者の方へ周知を図っていきます。一方で、「連絡帳などに事情を説明して、迅速に対応していただきました」とのご意見もいただきました。学校のいじめ対策については今後も継続してお伝えをし、ご理解いただくとともに、家庭・地域との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいきます。

・2-③ 学習内容の理解について

教職員は、児童自らの考えを広げ深める、対話的な学びの実現に向けた授業改善に取り組んでまいりました。保護者の方からは「算数が定着していない」という意見を複数いただきました。学習の基礎基本を大切にしながらも、対話的な学びを効果的に実現するための手立てやICTの活用、子供の学びの姿を実現する教師の働きかけの在り方について、今後さらに工夫、改善をしていきます。

・3-②各種たよりやホームページ、公式ブログでの情報の伝達について

各種たよりを学校安全安心メールで配信をいたしました。また、昨年度から始めた公式ブログでは、都度日々の学習や生活の様子を常に更新してきました。保護者の方から「いつもブログを楽しく見えています!」「子供たちの様子や先生方の活躍が知ることができ、法典小学校の良さを再発見できた」など、多数のあたたかいお言葉をいただきました。今後も保護者や地域の方に少しでも本校の教育活動を知っていただくため、引き続き、学校の様子を学校だよりやホームページ、公式ブログを通して伝えていきます。

Ⅳ 学校運営協議会委員より

- ・学習指導 ICT 活用は80%以上と肯定的な回答がすばらしいです。先生方の対話や工夫は大変だと思いますが、引き続き取り組んでいただきたいです。また情報発信を通じて地域との関係をもっと深めていただきたいと思いました。
- ・今後の教育活動、家庭、地域との連携を図りつつ取り組んでいただきたいと思ひます。
- ・アンケートの回答で3~10%が否定的な回答をしているので、子どもたちの様子をよく見てほしい。
- ・多くの大丈夫の中に見逃してはいけないことがあったら、取りこぼさずに対応してもらいたい。